

# 沖縄だより

<http://okinawa-branch.com/>

No. 91

2019年8月26日

【発行】平和フォーラム沖縄事務所

tel/fax:0980-43-0740

mail:peaceforum.okinawa@gmail.com

## 沖国大へり墜落 15 年、対馬丸撃沈 75 年

### を忘れてはならない！

沖縄県の 8 月は、「戦争反対、平和を守ろう」と同時に、「米軍による事件、事故を決して忘れてはならない」と抗議の集会、追悼、慰霊祭などが開催されます。県内二紙は「体験を継承しよう」（琉球新報）、「悲劇を学び伝え続ける責任がある」（沖縄タイムス）と報道しています。

#### 日本は独立国か！

普天間基地は世界一危険な基地として知られています。米国の連邦航空法には、「すべての固定翼機の使用滑走路に必要とされるクリアゾーン（滑走路の両端、900 メートル）の中に、学校、病院、住宅があってはならない」としていますが、米軍はこの法律を無視して、普天間基地を使用し続けています。

1995 年米兵により少女レイプ事件後の沖縄県民の怒りが爆発しすべての米軍基地の撤去を求める民意をそらすために普天間基地返還が合意されました。その後この合意には、辺野古新基地建設が条件となっていることを新聞報道で県民は知ることになりました。米軍基地が集中し事件・事故が 6000 件を超えるなど、もう基地はいらない、うんざりだという心境にあったところ、辺野古に造るというものだから怒りがまたまた爆発し、キャンプ・ジュワブゲート前での座り込みも粘り強く 6 年目の闘いとなっています。

2004 年 8 月 23 日、沖縄国際大学本館に激突・炎上したのは、この普天間基地に所属する米海兵隊所属の大型輸送ヘリ CH53D でした。

沖国大への墜落・炎上事故は、市道の通行を止めるなど事故現場を米軍が一方的に封鎖して、県警の現場検証すらできないなど、日本国の主権が侵害される異常な状態でした。県民を守る立場に立った「日米地位協定」の改定をただちに行えと大きな声に変わったのも当然です。しかし、2016 年 12 月、MV22 オスプレイが名護市安部の沿岸に墜落、大型ヘリが 2017 年 10 月東村高江に不時着・炎上した際にも県警や防衛省、政府も何ら口も手も出さませんでした。これでも日本は独立国かと厳しい声が再び沸き起こりました。

初代宮内庁長官の故田島道治さんが昭和天皇とのやり取りを詳細に記録した「拝謁記」の一部が公開され、話題となっているようですが、このなかに「一部の犠牲はやむおぼえと考える」と述べていたといえます。この言葉を現在の自民党・公明党と安倍は継承しているのだらうと思います。沖縄によりそういうものの戦後 75 年間米軍植民地支配されている現状をまったく変えようとしない政治姿勢に腹が立ちます。

#### 対馬丸撃沈から今年で 75 年

疎開学童ら 1788 人を乗せ那覇港から九州に向かう途中、鹿児島県悪石島近海で米潜水艦ボーフィン号の魚雷攻撃によって沈没し 1484 名が犠牲になりました。この悲劇は 75 年たった現在においても語り継がれています。学童ら軍とは全く関係ない人々が虐殺されました。

この攻撃は人道に反する戦争犯罪です。にもかかわらず艦長をはじめ幹部が処罰されていません。日本政府は米國に謝罪や補償、戦争犯罪を追及はしていません。

沖縄地上戦によって県民は 12 万人もの人々が犠牲になったにもかかわらず、自衛隊の基地が新設された石垣島、宮古島では市民の避難計画は全くないと政権党はうそぶいています。対馬丸撃沈の教訓どころかまたも「捨て石」にされようと計画が進行しています。

国民を犠牲にする安倍政権を打倒しなければなりません。